



黒川鶏冠山 (6月山行)

2013年6月30日
リーダー: 藤井 一義

鶏冠山にて↑

2013年6月山行「黒川鶏冠山」報告

今回は伊藤会長に代わり急遽6月の担当リーダーを務めることになった。

とりあえずパソコンを駆使しデーターをかき集めた、計画書を地図に写真取り込みしてルートを実線でなぞって入れているとともに歩程歩計算し集合時間から帰りの時間を予測した。あくまで地図時間ではなく遊友タイムで組む。日帰り温泉は方向別に2箇所ありA案、B案候補上げて帰りルートも下山時間によって決めることにし、運転手さんには待機時間とともにバスルートの説明した。さて本日の天気予報では思わしくない、現地に登山中は雨が来ないようにと祈ってきたが、歩く前に雨対策を皆に指示し準備体操してスタート。柳沢峠の登山口から9:40分に出発。細かな霧状の天候だ、緩やかに登ってゆく道幅も広く歩きやすい、六本木峠まで55分で着く、20分ほどで泉水谷の林道を横切る、ここから横手山峠まで少しアップダウンでやはり道幅あり20分少々で横手山峠に到着、道標は最初の鞍部に黒川への道がある、方向が同じ方向で間違いやすい、この少し上の鞍部に上がると同じく左方向に黒川山鶏冠山への道標があった。この道を行くと漸く少し急になってきた、でも道幅もあり歩きやすくてプロムナードの感あり、心配していた雨もなく霧が出た後に薄日もでてきた、新緑のにおいが心地よい、まもなく黒川山の標識のあるところに出る、左に行くと見晴らしとあるので小高いのぼりで見晴らしの岩山まで15分往復

してみた、展望はあるが曇り空で秩父の山並みも一部しか見えない当然富士もアルプスも期待できなかった。すぐに先ほどの分岐に戻り三角点を確認して、鶏冠山神社の標識への道を取り直進で岩山を上ってゆくと頂上に出る道に挑む、左に迂回路もあるが特に説明せずに、7月のメンバーもいるので岩山の練習を兼ねてと思い様子をみた、「急ね」とか、「コンパスが届かない」とか「ちょっと怖い」とかの声があったが、「男性人は助けてやって」と掛け声して登ってもらった。まもなく頂上で岩場に祠があってこれが神社である。12:20ここで昼食、高い場所で空気がうまかった。大菩薩峠の山は良く見えたが、他の景観は今ひとつ残念。ここから黒川山の分岐点へ右に巻き込んで戻り落合への道をとる。ここからはもうただ下るのみで皆には2時間コースといったが1時間40分で着くはずと思っていたら、みんながトイレに行きたいからと驚くほどの早歩きで、リーダーを追い抜く早さ、道は一本で迷わないから良いと思ったが急いで追いかけた。おかげで3時予定のはずが、2:25に落合集落の411号道路に到着しバスを呼んだ。帰路は奥多摩方面へ青梅街道から帰りとしたコースで、丹波山村「のめこいの湯」に立ち寄りした、なかなか良い風呂で、道の駅のお土産も手に入れて帰路青梅ICから圏央道～桶川北本IC経由で久喜白岡～春日部、せんげん台へと無事に戻ってきた。皆さんご協力ありがとうございました。

6月山行「黒川鶏冠山」に参加して／戸邊茂雄

6月30日(日)、山梨県甲州市の黒川鶏冠山に行ってきました。黒川鶏冠山は、三角点のある黒川山(1,710m)とすぐ北にある鶏冠山(1,716m)の総称で、いずれも日本百名山のひとつに数えられる大菩薩嶺の北側に位置しています。黒川鶏冠山は、山梨百名山のひとつで、多摩川の源流(水源)に位置しているので東京都水道局が管理しています。また、山の麓を流れる黒川谷沿いには戦国武将武田信玄の金山として知られる黒川金山跡があります。

バスはまず朝6時に春日部で13名が乗車し、6時25分にせんげん台で私を含め6名が乗車して合計19名で出発しました。今回の運転手は安全運転の山口さんです。6時45分に浦和ICから高速に入り、首都高、中央高速へと入って行き8時40分に勝沼ICを出て塩山を通過して9時20分に登山口がある柳沢峠に到着しました。

今まで小雨が降っていたと見えて地面や樹木が濡れておりましたので雨具の準備をしてからいつもの準備体操を行いました。そして9時40分に登山開始です。いつまた降り出すかも知れないような天候でしたが、雨は降りませんでした。しかし湿度が高く、蒸し暑い中の登山となりました。道はぬかるみもなく歩きやすく、勾配も緩やかで、登山というよりハイキングといった感じでした。森の中は緑が濃く、枯れた樹木や岩には苔がたくさん生えておりました。10時10分に梅の木尾根を通過し、10時30分には六本木峠、10時50分に泉水谷林道を横切り、11時5分に横手山峠、そして11:30に黒川山に到着しました。黒川山の山頂には三角点があるだけでしたので10分ほど歩いた先に見晴台があり、そちらへ行きました。狭い岩場の見晴台で、曇り空の中の景色を見て記念写真を撮りました。次に鶏冠山に向かいました。直ぐ近くですが唯一登山らしさを楽しめる勾配のある岩場があって、頂上には小さな神社がありました。12時10分に鶏冠山頂上到着です。そして、ようやく天気も良くなりました。目の前に大菩薩嶺を眺めながら、ここで昼食となりました。登り始めてから2時間半、お腹も空いてきて、お天気も回復し、美味しいお昼となりました。30分間の昼食休憩の後、12時40分に下山開始です。下山ルートは登りとは異なります。12時55分に落合分岐から落合に向かいました。一気に下山です。1時間半で下山してしまいました。14:10に神金小中学校跡地に着きましたが、まだバスが来ておりませんでした。しばらくするとバスが来て、次なる目的地の温泉に向かいました。

落合から青梅街道を通過して、丹波山村にある「のめこい湯」に行きました。のめこいとは、「のめこい〜つるつる・すべすべ」の意味で、アルカリ温泉で肌がつるつるになります。14時45分~16時15分まで温泉に浸かり、ビールを飲み、隣接の道の駅で買い物をしました。

後はバスの中で飲むだけです。道の駅で買ったビールと地酒を飲み、

更にコンビニで買い足した日本酒ですっかり出来上がりました。帰りは行きとは逆の春日部→せんげん台の順番になりましたが、鳴原さんと小倉さんがせんげん台まで来てくれていつものせんげん台組+2名でせんげん台で更に反省会を行いました。そして22時20分に帰宅しました。急遽リーダーを務めることになった藤井さん、会計の北山さん、久保谷さんはじめ皆様、ありがとうございました。今回も十二分に楽しめた山行でした。



見晴台頂上↑



新緑が美しかった↑



6月山行曇り晴れ／岡本 八重子

黒川鶏冠山1710メートルは八ヶ岳の訓練と思い頑張りました。

傾斜が少なくしかも足に優しい道程には少し拍子抜け。一か所の岩山には苦勞、足の運び方であと5センチ長い足が欲しい。

八ヶ岳にはこんな所が沢山あるのか?下調べをきちんとしておかないと。

残念ながら富士山を見ることができませんでしたが、頂上でのちよいと晴れのお弁当は美味しかったです。

藤井リーダーの細かい山行説明と下山コース変更に伴う温泉はいい湯だね。皆さんつるつる美人となりました。リーダーお疲れ様でした。



見晴台にて↑

● 8月山行の案内

草津白根山 (2165m) ／リーダー：伊藤松雄

草津といえば、温泉。温泉といえば、草津。日本三名湯(有馬・下呂)に数えられる温泉街の西方に、大きくそびえる山が日本百名山の草津白根山。

遊友ハイキングクラブとしては2回目ですが、リクエストにこたえての山行です。

草津白根山を日本百名山に選定した深田久弥は、『草津白根山は絶頂を極めて快哉を叫ぶと言った山ではない。顕著な頂上らしきものもない。火口を巡り一高一低の稜線が連なっていて、その最高点が頂上というものの、この山の特色は頂上よりむしろ、断崖をなした火口壁や火山湖の妙にある』と記しているごとく、本白根山の断崖をなした火口壁を中心に、弓池、鏡池が点在しています。そして、コバルトブルーの湯釜には、『火口壁を登って湯釜がパッと眼前に開けた時、誰しもおどろきの声をあげずにはおかんだろう』と、深田久弥はのべています。

さらにこの山は、志賀高原、横手山、岩菅山を前衛に、富士山をはじめ、上信越の山々、そして息を飲むような北アルプスの大眺望が展開します。

これらのコース全てをたどっても4時間。また、バス駐車場は2000mの位置にありますから、高低差はわずか200m。連日40度近い猛暑で疲れ切った体を癒すには、絶好の雲上オアシス。全快の私のご案内いたします。



草津白根山 湯釜 ↑

【日時】8月11日(日)

【集合】せんげん台駅 東口 5時45分／春日部駅 西口 6時00分発

【入浴】大滝乃湯(入浴料600円) 入浴セットをお持ちください

【参加者】伊藤マ・品川・佐藤・豊島・藤井・小倉・伊藤ノ・伊藤ユ・宇田川・

岡本ヤ・北山・久保谷・酒井・嶋原・知名・机・戸邊・松沢・松島・宮腰・村田・村田ス・渡辺

【申込み】7月24日現在:23名 定員は28名なので追加募集を受け付けます。

参加希望の方は伊藤までご連絡ください。

鹿俣山に登り、お酒を飲んでの山行記

5月山行は、山全体がブナ生い茂る群馬県沼田市の鹿俣山(1637メートル)。
山行報告は担当リーダーが書いていましたが、私の文面はマンネリ化してちっとも面白くありません。そこで考えました。参加された皆さんの感想を山行記にできないかと。
そこでなにを隠そう、バスにテープレコーダーを持ち込み、録音させていただきました。
しかし男性の方々は酔っぱらって、聞き取れない部分がありましたが、なんとかおこし、書面にしました —— ところがなにを隠そう、体に「菌」が侵入し入院。書面は没だな、と思ってベッドに横たわっていると、「来月号に載せますから、まとめてください」と、お見舞いにきた小倉編集長。となりで「あんまり無理をさせちゃだめだよ」と藤井さん。
ところがそばで聞いていた女房が、翌日、我が家から書面をもってきました。えっ、病室で書面をまとめろって、右手に点滴の針を入れてのパソコン打ち。皆さんの顔が浮かんでは消えと、いい思い出になりました。

H.S なにを隠そう、私は《S》です。前回の三春山行、ヤボ用があってすみませんでした。三春のDVDを見て、終始、三春の滝桜が映しだされていました。故郷の滝桜がこんなにも皆さんから愛され、自慢と地元の誇りに胸がいっぱいです。皆さまに、厚く、厚く御礼を申し上げますところでございます。

T.O 酔っぱらって… 山がなだらかすぎて… ちょっと物足りなかったけど、でも、なかなか良かったんじゃない… 「聞こえない!」の声とヤジで音信不可、(酔っぱらって嫌ですね〜)

F.M 先ほどのパーキングから降りればすぐ自宅です。《T》さんからチュウハイをいただいて、頭がフラフラしています。この会の生きたシーラカンスといわれながら、年にはかなわないと思いますが…今日はありがとうございました。

S.T 私の左にフラダンスの《K》さん。私の右に引越しの《S》さん。ちょっと話を聞いたら、23年生まれ、ねずみ年なんです。して、あの原発のホースをかじったのはネズミでしたね。そのホースを作ったのは《S》さんだそうです。作っていたそうです。ミッキーマウスは何を食べて生きているんですかね。それはそれとして、ブナ林…20年前、秋田のブナ林を歩いて来ましたが、今日のブナ林は、葉っぱは優しく、横に、全部横に広がっていて優しい自然に出会いました。ワインを御馳走になって…。

S.K ネズミ年の《K》です。今日は本当に偶然横にならんで、お近づきができたようです。ブナ林は広くて緑というより綺麗なグリーンをたくさん見ることができて、弱っていた私の目にも優しくなったなあ〜と、思いました。雪の谷川岳

や武尊(ほだか)などの雪の山がすばらしかった。緑豊かな山行ができました。

M.N おつかれさまです。えーっと、初めにいいたいのは、《S》さんの準備体操けっこう大好きです。次回も楽しみにしていますので、特に首の体操を鍛えておきますのでよろしくお願いします。ちょっと酔っぱらっていますので、次回よろしくお願いします。マイク回しま〜す。

K.K 今日はありがとうございました。今日暑く、足も痛くてわりと大変な山でした。新緑とか花に助けられて楽しかったです。先週は朝市にきていただき完売することができました。本当にありがとうございました。

Y.I 春日部の《I》です。風邪をひきました。ブナ林で癒されました。ありがとうございました。以上!!

N.I 南栗橋の《I》です。今日ブナ林はとっても気持ち良かったです。帰りのバスに乗りましたら、うしろの方からコップを出され、透明な水といわれ、分かっているながらちょっと口にしたのですが、そうしたら、もうひとりの方からコップを渡されて、イヤですねーっ 近くには座らないようにします。
バスが動いたら頭痛です。春日部の電車で上野に行かねばいいな、と思っています。でも楽しかったです。天気もよくて本当に良かったです。ありがとうございました。

M.T 今日はお疲れさまでした。山も3カ月ぶりでした。みなさんに会えることを楽しみにしています。《M》さんとも久しぶりに会って、朝会ったときハイタッチをしていただき元気をいただきました。また一緒に山に登ってください。

※掲載しましたコメントは了解をいただいた方のものだけを載せました。個人名はイニシャルにしました。

山行会計の、宇田川さん、岡本八重子さんは、計算中だったので発言できませんでした。謹んでおふたりに感謝を申し上げます。

リーダー育成にと、市川、清水さんに先頭を歩いていただきました。なにかとご苦労なされたと思います。山は机上で覚えるより、山で覚える方が身につきます。今後は、リーダーになったつもりで学んでいただき、この会を、より長く続けていきたいと願っています。

7月は八ヶ岳山行があります。山塊はコンパクトながらも、色々な良さを凝縮した素敵な山で、じえじええ、と、驚く個所もあります。なにがあっても、リーダー、サブリーダーの指示に従って行動することが、山登りを楽しく、いい思い出づくりにするための保証です。お氣をつけて。 5月山行リーダー 伊藤 松雄